

令和4年度当初予算案の概要

1 予算編成の基本方針

本市の財政は、ワクチン接種の進展等に伴う景気回復が見込まれるものの、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により市税をはじめとした歳入は先行き不透明であり、歳出では感染症対策に伴う経費の支出、低迷する社会経済活動への支援や社会保障に係る経費の増加が続くことに加えて、防災・減災等に資する投資などの財政需要への対応が必要なことから中長期的に厳しい状況が見込まれます。

令和4年度当初予算は、感染拡大防止と市民サービスの質を保ち、市民生活及び社会経済活動への支援を進めるとともに、将来にわたって持続可能な都市であり続けるために、まちの魅力を向上させる施策を推進することが重要となります。このため、事業の「選択と集中」をより一層徹底し、必要な政策の実現に取り組むものとして、次のことに留意して編成しました。

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応
- (2) 子育て・教育世代支援と健康で安心して暮らせる社会の実現
- (3) デジタル・トランスフォーメーションの積極的な推進
- (4) 自然災害に強い強靱なまちづくり・防犯体制の構築
- (5) 「伝わる」情報発信体制の構築
- (6) 持続可能な行財政運営の構築
 - ア 「選択と集中」による政策の実現
 - イ 適切な市債の活用
 - ウ 基金の活用

(※別添資料参照)

2 予算規模

一般会計 1,484億7,000万円
(前年度比 69億7,000万円増 4.9%増)

会計	予算規模	前年度比
一般会計 (借換債除く)	1,484億7,000万円 (1,482億5,170万円)	4.9%増 (5.1%増)
特別会計(8会計)	798億3,700万円	5.1%増
企業会計(3会計)	約290億2,116万円	3.6%減
合計	約2,573億2,816万円	3.9%増

一般会計当初予算規模の推移

(単位：百万円，%)

年 度	29 年度	30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
金 額	122,730	124,460	134,260	138,170	141,500	148,470
増減率	△1.5	1.4	7.9	2.9	2.4	4.9

3 一般会計当初予算案の概要

(1) 歳入

市税は，686億2,700万円を計上（対前年度比5.1%増）

地方交付税は，32億2,000万円を計上（対前年度比6.6%増）

市債は，94億9,490万円を計上（対前年度比8.0%減）

うち，臨時財政対策債は，36億円を計上（対前年度2.7%減）

(2) 歳出

義務的経費のうち，扶助費（対前年度比7.6%増）と人件費（対前年度比3.8%増）は増加，公債費（対前年度比1.7%減）は減少

普通建設事業費（148億6,473万円）は減少（対前年度比8.4%減）

主な事業は，新型コロナウイルス感染症対策，保育士処遇及び保育人材の確保事業，駅前子育て施設等設置検討調査，認可保育園等の整備，こどもルーム施設整備事業，教育環境の整備（小中学校人的支援の拡充），（仮称）柏北部東地区新設小学校整備事業，GIGAスクール環境整備・活用推進事業，災害後72時間を乗り切る体制の構築，EV車を含む電動車の段階的導入，コミュニティバスの運行など

4 当初予算案のポイント

(1) 令和3年度補正予算と一体的に編成

道路改良事業や小中学校施設整備などについて令和3年度2月補正予算への一部前倒しを行い，一体的に編成

(2) 重点的な取組

「新型コロナウイルス対策」，「子育て・教育」，「健康」，「防災」，「DX」，「情報発信」分野に予算を重点配分

ア 新型コロナウイルス感染症への対応

(ア) 新型コロナウイルス感染症予防のため，新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施

(イ) 新型コロナウイルス感染症に係る入院医療費，PCR検査及び抗原検査の行政検査料を一部負担

(ウ) 自宅療養者で1人暮らし等により外出が出来ない者に対し，配食サービスを実施

- (エ) 自宅療養者等に対する医療支援の体制確保
- (オ) 軽症者等が入所する宿泊療養事業を実施

イ 子育て・教育世代の支援

- (ア) こどもルームの整備及び保育環境の改善・向上のための改修を実施
- (イ) 処遇改善をはじめ、合同就職説明会の開催等、保育士確保の取組の充実
- (ウ) 私立認可保育所等の整備（認可保育園・認定こども園）
- (エ) 医療的ケア児への受入体制を整備
- (オ) 駅前送迎保育ステーション設置検討調査の実施
- (カ) 駅前「こども広場」及び「こども図書館」設置検討調査の実施
- (キ) 産後ケア事業の拡充（既存の「宿泊」、「デイサービス」に加えて、「アウトリーチ」を実施）
- (ク) インフルエンザワクチンの予防接種費用の一部助成を実施
（新たに生後6か月から小学6年生を対象に実施）
- (ケ) 児童生徒1人1台の端末を活用した学習活動の段階的推進
- (コ) 就学援助の拡大
- (サ) 全ての児童生徒の学ぶ機会を保障し、居場所を確保するため、個別支援教員を増員
- (シ) 不登校児童生徒の支援のため、スクールソーシャルワーカーを増員
- (ス) 通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、個別支援教員を増員
- (セ) 人口増による小学校の教室不足に対応（柏第三小、（仮称）柏北部東地区新設小、田中中）
- (ソ) 自校方式学校給食の調査を実施
- (タ) 市立学校における生理用品の無償提供

ウ 健康で安心して暮らせる社会

- (ア) 高齢者及び障がい者の就労を中心とする社会参加の促進
- (イ) AYA世代（若年）のがん患者支援
- (ウ) 市立柏病院の現地建替え及び基幹病院としての機能の充実
- (エ) 特養ホーム、グループホームの整備
- (オ) 地域共生社会の実現を目指す「重層的支援体制整備事業」を開始

エ 自然災害に強い強靱なまちづくり

- (ア) 災害後72時間を乗り切る体制の構築（避難所に持ち運び可能なソーラーパネル付き蓄電池を配置、発災3日後までの備蓄品整備、公用車の一部について外部給電可能な車両を配備）
- (イ) 取り残されない避難体制の構築
- (ウ) 防災資機材等の充実
- (エ) 耐震性井戸付貯水装置改修等防災施設の整備
- (オ) 消防車両及び資機材等の更新

オ 柏市デジタル・トランスフォーメーションの積極的な推進

- (ア) 行政手続きのオンライン化・電子申請，窓口でのキャッシュレス決済の段階的な導入等（つながる市役所）
- (イ) 自治体DX支援プラットフォーム，AIによる保育園等入所選考の導入等（業務改革・効率化）

カ 「伝わる」情報発信体制の構築

事業者と連携を図りながら，柏市の魅力を市内外に発信するシティプロモーションや地域ブランディングを実施

キ その他

- (ア) コミュニティバスの運行
- (イ) シルバーパスの導入検討
- (ウ) 公設市場「併設 道の駅」検討